

“ヒラメキ”からはじまる
企業ストーリー

『宅配リサイクルで世界を変える、リネットジャパン株式会社』

文 牛久保洋次

text by Yoji Ushikubo

私が30年以上前にレンタルレコード店をオープンした際、最初は私物のコレクションであるレコードを店頭に並べて営業を開始しました。当時は中古品を扱うビジネスモデル自体が珍しかった事もあり、お客様が借りてくれるのか、クレームにならないか、最初はとても心配でした。しかし、お客様は少々傷があろうが気にもせずにレコードを借りてくださり、そんな不安は杞憂に終わった事を今でも鮮明に覚えております。

今回はインターネット専門のリユース&リサイクル事業を展開している「リネットジャパングループ株式会社（証券コード：3556）」をご紹介します。

皆様、「都市鉱山」という言葉をご存知でしょうか？

日本では年間65万トンの小型家電が使用済となっており、その中には28万トン分の有用な金属が含まれ、都市鉱山とも呼ばれています。都市鉱山は、金であれば全世界の埋蔵量の16%に相当する6800トン、銀であれば22%に相当する6万トンが日本国内の家庭に眠っているのです。

リネットジャパンは環境省・経済産業省から全国エリア対象の第1号の「小型家電リサイクル法」認定事業者となり、ユーザーからのインターネット申込により、直接、不用となった使用済のパソコン、携帯電話、その他小型家電を日本で唯一宅配回収するサービスを提供しています。回収された小型家電

は、国の認定工場でセキュリテイ管理され、破碎・選別等の再資源化処理を行い、資源として再活用しています。

今後、世界人口が増加するにつれ、天然資源が枯渇していく事は明白です。だからこそ、同社は都市鉱山の活用を世界に先駆けて取り組み、全国の自治体と連携して、稀少資源の循環モデルを構築しているのです。

小型家電リサイクル以外にも中古本、CD、DVD、ゲームソフトを中心に、ブランド品、楽器、ゴルフクラブやフィギュア等のインターネットを通じての宅配買取と、自社で運営するWebサイトやECモール等を通じて、多様な商品を幅広くインターネットで販売するサービスも展開しております。

「インターネット」「リユース」「リサイクル」という成長セクターにおいて、リネットジャパンは業界のパイオニアとして、今後更なる成長を遂げていくのではないのでしょうか。

【リネットジャパングループ株式会社】
<http://corp.renet.jp/>

今月の一言

日本人の「もったいない」精神を活かした、世界の循環型社会の構築
これが則ち【未常識の発見】



Profile

慶應義塾大学商学部 卒業
株式会社友アンド愛（レコードレンタルビジネスの開発者）を創業し、代表取締役就任。約700店舗をFC展開する。株式会社ビザカリフォルニアを創業し、代表取締役就任。約400店舗をFC展開する。日本CDビデオレンタル商業組合 初代理事長（社）ニュービジネス協議会 理事等を歴任。
現在、株式会社いかしい隊長、その他顧問数社。